



手をのばせば つながる
鹿骨地域農の風景育成地区

はじめての1年

農の風景育成地区

■ 農の風景育成地区とは (東京都都市整備局WEBサイトより)

東京の農地は、食料生産の場だけでなく、潤いのある風景の形成や、災害時の避難空間としても役立つ貴重なオープンスペースであり、多面的な機能を有しています。このため都は、**減少しつつある農地をオープンスペースとして保全し、農のある風景を将来に引き継ぐ「農の風景育成地区制度」を平成23年に創設**しました。

この制度では、農地や屋敷林などが比較的まとまって残る地区を指定し、散在する農地を一体の都市計画公園等として計画決定するなど都市計画制度を積極的に活用することとしています。**地域のまちづくりと連携しながら農のある風景を保全、育成していきます。**

■ 鹿骨地域農の風景育成地区とは (江戸川区WEBサイトより)

鹿骨の魅力である農と住環境が調和したまちなみを保全し将来へ継承するため、農家と地域住民、行政が協力して、魅力の発信や農を守る機運の醸成、農家の支援などを行い、**地域連携により農の風景の保全に取り組めます。**

目標

手をのばせば つながる

～歴史と農の広がるまち鹿骨～

鹿骨の魅力である農と住環境が調和したまちなみを保全し将来へ継承するため、農家と地域住民、行政が協力して、魅力の発信や農を守る機運の醸成、農家の支援などを行い、地域連携により農の風景の保全に取り組む。

取組みの方針

- ① 農を保全する機運の醸成や地域の魅力発信
- ② 農家のやりがいの向上と農地の保全・活用
- ③ 地域と連携した農の風景を保全する取組みの展開
- ④ 農と区民がふれあう機会の創出、拠点の整備

取り組みを進めるために必要なこと

前年度から実施された「農の風景ワークショップ」でのアイデアを活かし、取り組みを続けていくためには、将来的に

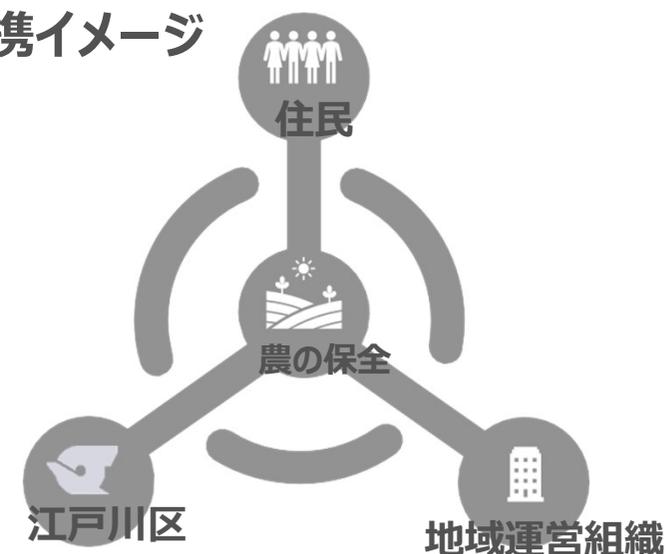
行政、地域住民に加え、**地域運営組織**が発足し、各者の連携により取組が推進されることを目指す必要がある

と仮定して、取り組みを進めました。

■進めていくこと

- 取り組みのことを多くの方に知ってもらう
(イベント参加、PR、SNS、まちづくりニュース など)
- みんなのアイデアを具現化する(展開プログラム実施)
- 地域の方との交流を深め、理解者を増やす
(農家さん、地域で活動したい方 など)
- 地域で活動する組織
(参考になるテーマでの勉強会、視察 など)

■連携イメージ



始めに取り組んだこと

まずは「鹿骨地域農の風景育成地区」の取り組み幅広くを知ってもらおうと、江戸川区や鹿骨地域の大きなイベントに出展して、交流しつつPRしました **盛況でした！**

花の祭典
(5月3日・4日)



花壇コンクール
(5月17日・20日)



鹿骨区民館まつり
(5月21日)



農の風景地区のPR (展示等)
イベントの実施 (ミニトマトすくい)



区内在住者と植物・小松菜の植え付け



農の風景地区のPR (展示等)
イベントの実施 (ミニトマト計量)
ワークショップの実施 (野菜スタンプを押したトートバッグ作り)

次に取り組んだこと

鹿骨地域の方（関わりがある方）には取り組みを知ってもらうだけでなく、一緒に取り組んでくれる方を募る、まちづくりに必要な情報などをお伝えするため、参考となるテーマを決めて、勉強会や視察に行きました。

第1回勉強会
(6月12日)



第1回視察
(7月8日)



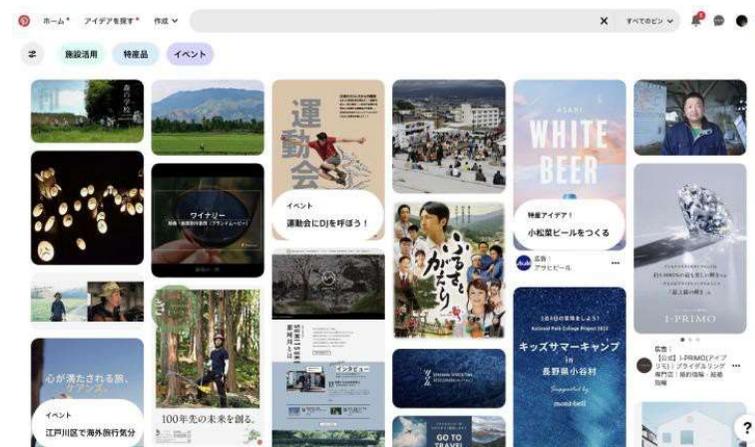
第2回勉強会
(7月10日)



テーマ：都市農業



テーマ：
他の農の風景育成地区の取組



テーマ：情報発信の手法

成果と課題、転機

イベントに出てミニトマトすくいなど出し物を行うと盛り上がるし、多くの方にSNSで繋がるなどPRはできているけど、なかなかその後の関わりにはつながらない

勉強会や視察には意欲のある方が参加し満足してもらえているけど、なかなか人数が集まらず、話し合いが進まない
(厳しいご意見をいただくこともありました。。)

江戸川区と事務局で話し合いながら試行錯誤しましたが、次のアクションに悩んでいたところ、

転機となるアイデアのご提案がありました！



うちのお寺と一緒にマルシェをやりませんか？

一声をきっかけに、みんなの力でマルシェを作り上げることができました



令和5年9月2日 ししほね寺マルシェ開催
 場所 真言宗豊山派 金霊山 圓勝院
 主催 ししほね寺マルシェ実行委員会
 後援 江戸川区都市開発部都市計画課



<p>チェアヨガ</p> <p>椅子を使った簡単なヨガ。初めての方におすすめです。</p> <p>時間 10:30-11:00 (受付10:00-10:20) ¥500 持ち物 汗拭き用タオル、飲み物、動きやすい服装</p> <p>先着15名様</p>	<p>写経</p> <p>お寺の本堂で写経体験。般若心経(所要時間1時間)十善戒(所要時間30分)から選べます。</p> <p>時間 午前の部 11:15-午後部の部 14:15- ¥1,000 (写経手本・用紙・筆ペン付き、納経料込み)</p> <p>先着各回10名様</p>	<p>セラピーヨガ</p> <p>首・肩・腰・膝などの不調を改善しましょう。椅子を使ったり少し歩いたりします。</p> <p>時間 11:30-12:00 (受付11:10-11:25) ¥500 持ち物 汗拭き用タオル、飲み物、動きやすい服装</p> <p>先着15名様</p>	<p>救命救急 (AED操作)</p> <p>鹿骨地域にもAEDが増えてきました。いざという時に備え体験してみませんか。</p> <p>時間 13:00-14:00 無料 指導:小岩消防署</p> <p>先着20名様 当日会場にて受け付けます。</p>
---	--	---	---

野菜の廃材スタンプでオリジナルエコバッグをつくらう

野菜の廃材を使ってオリジナルエコバッグをつくるワークショップを開催します。汚れてもいい服装でご参加ください。所要時間15分程度 10:00-15:00の間(30分毎開催) 申込はQRコードよりお願いします。

申込はこちら！

打ち水大作戦

圓勝院の境内で打ち水を実施します。暑い夏を涼しく過ごすために打ち水大作戦に参加してみませんか？濡れてもいい服装でご参加ください。(当日特設ブースにて参加受付)

事前予約制 限定50名 参加費無料

先着300名に 打ち水大作戦 特製手ぬぐいを プレゼント！

ししほね寺マルシェ 会場案内

駐輪場(唐骨一丁目児童遊園)

ヨガ・写経・AEDはココ!!

Workshop area ワークショップエリア

Marche area マルシェエリア

Kitchen car area キッチンカーエリア

<p>チェアヨガ</p> <p>10:30~11:00 受付は10:00~10:20</p>	<p>写経</p> <p>午前の部 11:15~ 午後部の部 14:15~</p>	<p>セラピーヨガ</p> <p>11:30~12:00 受付は11:10~11:25</p>	<p>救命救急 (AED操作)</p> <p>13:00~14:00</p>
---	--	--	---

- a. こどもマルシェ
- b. MAMEBACO COFFEE TOKYO RI-CHI-A
- c. ihoiho labo
- d. 日本大学 江戸前ちは海苔チーム
- e. 日本大学 ローカルブランドプロジェクト
- f. 第二熊遊舎えとがわ
- g. 味噌工房わくわく
- h. フードドライブ
- i. JA東京スマイル 江戸川直売部会
- j. 野菜スタンプ



しほね寺マルシェ



推計 500人以上が参加！

マルシェ 10組

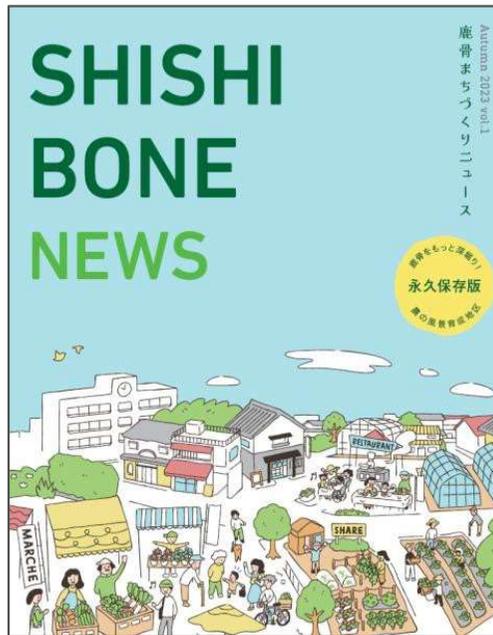
キッチンカー 4組

**エコバッグ作りやヨガ、写経体験などの
ワークショップも実施**

イベント参加の継続

ししほね寺マルシェ実施後は、リニューアルしたまちづくりニュースを製作しました。
またイベント、への参加を続けました。ポプラ祭りは地域からお声がけいただく事もできました。

まちづくりニュース製作
(8月～9月)



デザインリニューアル
農の風景の方向性の整理
今年度の取り組みの整理

江戸川区民まつり
(10月8日)



農の風景地区のPR (展示等)
イベントの実施 (ミニトマトすくい)

鹿骨中学校 ポプラ祭
(10月22日)



農の風景地区のPR (展示等)
イベントの実施 (ミニトマトすくい)

まちづくりニュースvol.1 (農の風景の方向性の整理)

まちづくりニュースには、鹿骨地域農の風景の目標および、盛り上げ隊としてのまちづくりの進め方のイメージをイラストにしました。

農と歴史が広がるまちを
鹿骨の風景をみんなで残していきませんか？

■ ワークショップで考えたみんなの目標
「手をのばせば つながる ひろがる」



左の目標は、鹿骨の魅力である「農」と「住環境」が調和したまちなみを残したい、鹿骨地域をもっと良くしたいと願う地元の人々が集まり考えました。地元のみなさん一人ひとりが自分ごとと捉え、将来につながるアクションを残していこう、そんな思いが込められています。農と歴史がひろがる鹿骨の美しいまちなみを守るために、農家と地域住民、行政が協力し合って、将来へとつなげていきませんか？

地域のみんなが
参加して取り組むことを
目指しているよ！

まち全体で、
鹿骨を盛り上げ隊！

みなさんも
盛り上げ隊に
参加しませんか？
参加方法は裏面から！

鹿骨地域を盛り上げるために発足した地元住民からなる「盛り上げ隊」。みんなで楽しいことを企画して、実現していきませんか？ まずは地域の方々の困りごとを知ることがその第一歩。みなさんの困りごとを深掘りして、課題を楽しみや学びに変えるアクションを見つけしていく。それを繰り返した先に、鹿骨のまち全体が盛り上がっていくといいですね。

START
地域のみんながしたいこと
困っていることを知る

POINT!
実際に
ワークショップなどを
通して、困りごとを
楽しみや学びに変える

GOAL
鹿骨のまち全体が
盛り上がる！

鹿骨をもっと深掘り！

みんなが参加・
交流できるアクションを
検討する

SHARE



成果と課題、新たな転機

イベントはやっぱり盛り上がるし、ポプラ祭りお声がけいただくなど、地域との関わりは少しずつできている
だけど、やっぱりその後の関わりをつなげることが非常に難しい

まちづくりニュースを作ることで、鹿骨地域農の風景地区の考えを分かりやすく伝えるツールは出来た
だけど、活動する機会やフィールドを確保できず、新しく関わってくれる方をなかなか増やせていない

江戸川区と事務局で話し合いながら
11月に勉強会を開催することを話していたところ、

また、新たな転機が2つありました！



鹿骨のまちづくり 一緒にやりませんか？

鹿骨サーキュラーベース

寺マルシェでも声をあげてくださった山田さん（圓勝院寺庭）が、自分たちのまちづくりを自分たちで進めるために活動を開始されました農の風景育成地区とも関わりながら、現在もみんなでアイデアを出し合いながら取り組みを進めていらっしやいます

11月23日に開催した第3回勉強会の場において、江戸川区より直接鹿骨地域のまちづくりについて講演いただいた後、勉強会に参加された皆さんの前で、企画の内容を発表いただきました。



活動できるフィールドができた

鹿骨四丁目ひろば

江戸川区の計らいにより、鹿骨地域の農地を活用したひろばにボランティアとして登録し、活用ができることになりました。



11月23日に地域の皆さん、
特にこどもたちと一緒に植物を植えました

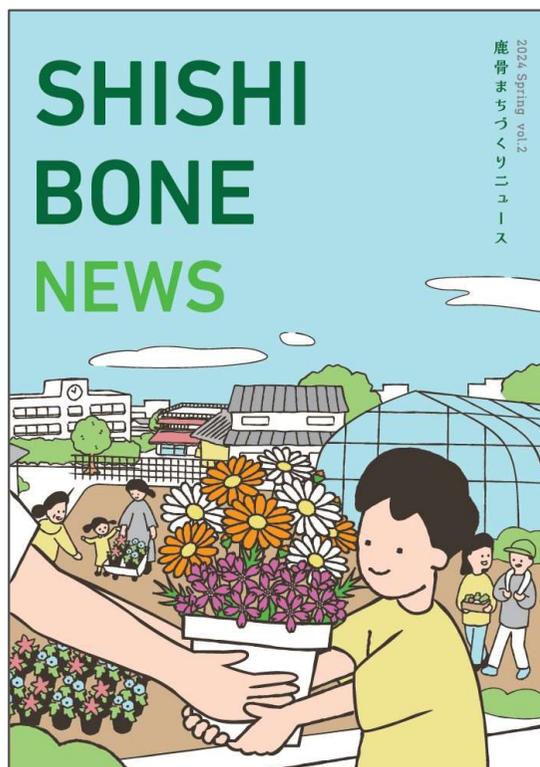


ボランティア募集中です！

イベント参加の継続

ししほね寺マルシェ実施後は、リニューアルしたまちづくりニュースを製作しました。
またイベント、への参加を続けました。ポプラ祭りでは地域からお声がけいただく事もできました。

まちづくりニュース製作
(2月～3月)



鹿骨サーキュラーベース対談
鹿骨四丁目ひろばの取り組み紹介
鹿骨を彩るお花の紹介

第2回視察
(2月10日)



テーマ：都市交流拠点保
田小学校／みんなみの里

小岩消防署お祭り
(3月2日)



農の風景地区のPR（展示等）
イベントの実施（ミニトマトすくい）

次のまちづくりニュースには、鹿骨四丁目ひろばの取り組み、鹿骨のお花の情報に加え、地域で活動する方として、鹿骨サーキュラーベースの対談を掲載します。



鹿骨サーキュラーベースのお二人に伺いました！

鹿骨でやりたいこれからのこと



サーキュラーベースの詳細はこちら



山田 賀子さん
鹿骨在住歴9年、圓勝院 寺院、元ガテン系ITエンジニアで「鹿骨サーキュラーベース」の主催者。イベントは参加するより「やる」方が好き。

人や情報など 気軽に集える場を

お寺が運営していた保育園が閉園してから、地域コミュニティの入口がなくなってしまったと感じていました。そんな時、鹿骨地域が「鹿の風景育成地区」に選ばれ、緑あつてお寺を会場とした「ししほね寺マルシェ」を開催することに。マルシェの開催をきっかけに、子どもからお年寄りまで幅広い世代の人が気軽に集まり、アイデアを出して話し合ったり、形にできる場を作りたいと考え、「鹿骨サーキュラーベース」を発足しました。大人も子どもと一緒に何かを作り上げたり、この街に来た新しい人たちが地元の人と繋がる場になればと思っています。今年の「寺マルシェ」もそろそろ企画を始めます。鹿骨のまちづくりを、一緒にやっていきませんか？



江戸川区が大好きで、もっとこの街の魅力を伝えられたらと思っていた時、鹿骨で大好きなカフェ「MAMEBACO COFFEE」のコーヒーが飲める、まちづくりの集まりを知りました。妹と一緒に気軽に参加したところ、サーキュラーベースのみなさんがとっても温かくて、地元の間わりが薄れていると感じていたので、この交流が嬉しかったです。今は、わたしがアイデアを出した鹿骨の「寺子屋」作りを進めています。小学生から中学生までの子どもたちと一緒に、鹿骨のマップ作りをするなど、街を知り、やりがいを感じられることを計画中。地元との間わりを大事にしている両親も応援してくれています！



自分の好きな街の 魅力をもっと伝えたい



soraさん
生まれも育ちも新堀地区の高校一年生。文化祭やフェスなど楽しいものが大好き。自分の街に「自慢」を作るため、サーキュラーベースのメンバーに。

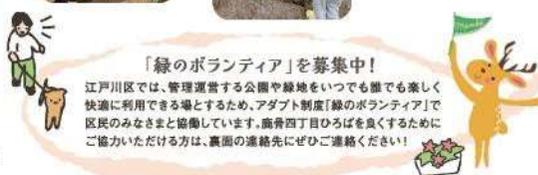
パンジー、ローズマリー、シロタエギクなど100株以上の花が集まりました



カラフルでキレイ！

- 1 ひとつずつ丁寧に植えていくよ
- 2 仕上げにたっぷり水やりをして
- 3 農地から花畑へ花植え完成！

「緑のボランティア」を募集中！
江戸川区では、管理運営する公園や緑地をいつでも誰でも楽しく快適に利用できる場とするため、アダプト制度「緑のボランティア」で区民のみなさんと協働しています。鹿骨四丁目ひろばを良くするためにご協力いただける方は、裏面の連絡先にぜひご連絡ください！



花のまち 鹿骨を彩る “四季の花”

東京の春の花は「鹿骨の草花」から始まる、といわれるほど有名な鹿骨の花き栽培。鹿骨地区はアサガオや春の七草などさまざまな品種の生産が盛んで、江戸川区の花の出産額はなんと23区トップ！今回は、1年を通して鹿骨の街を鮮やかに彩る四季の花をご紹介します。鹿骨の花を購入できるお店もあるので、ぜひチェックしてみてください。

江戸川区が誇る【区の花】

つつじ



「入谷朝顔まつり」出陣No.1を誇るアサガオ



春

サクラソウ



サイネリア



夏

マリーゴールド



キク



秋

シクラメン



パンジー



冬

鹿骨のお正月の風物詩 春の七草



「鹿骨花公園」で春と秋に楽しめるバラ



※小売業者が販売している場合も購入可能



ここまでとこれから

ししほね寺マルシェなど、皆さんとともに大きなイベント実施できました
鹿骨サーキュラーベースで皆さんが自主的な取組みを開始されました
どちらも思いがけない、とても大切で大きな出来事です

様々なイベントしたり、まちづくりニュースをリニューアルなど、
出来たことも色々あります
一方、まだまだ地域の皆さんと交流し、関係を深めて、
理解者、仲間を増やすことは必要だと感じています

今年はまだ農の風景育成地区として
取組みを開始して1年です

皆さんとともに地域が明るくなることを進めていければと思います

